

# フィリピン台風緊急支援



報道関係各位

2014年12月5日

## アジアパシフィック アライアンス 本日、緊急支援チームがレイテ島入り 大型台風被害を想定し支援準備開始

災害救助犬レスキューチーム、フィリピンのパートナーNPO「CDRC」と協力

大型の台風22号が、12月3日からフィリピン中部のレイテ島やサマル島の方角へ進み、早ければ6日午後にも上陸の恐れがあります。これに先立ち、大西健丞CEOをはじめとする「一般社団法人アジアパシフィックアライアンス（A-PAD）」（本部：東京都千代田区）の緊急支援チームは、昨晚からフィリピンへ向かい、本日セブ経由で被害が予想されるレイテ島に入る予定です。

現地では、フィリピンのパートナー団体「CDRC(Citizens' Disaster Response Center)」と合流し、災害救助犬によるレスキュー活動を含む即時の緊急支援活動を開始します。被災が想定されているこの地域は昨年11月に大型台風30号（ハイエン）の直撃により被災者が967万人を超える甚大な被害を受けた地域の中心地です。復旧もままならないうちに次の大型台風が迫るなか、わたしたちは、今回初めて、台風が来る前から被害が予想される地域に入って緊急支援の準備を担うという事前の緊急支援チームの派遣を決定しました。背景には、昨年のフィリピン緊急支援活動において、物資の出荷手続きやフェリー・配布物資を運ぶトラックの調達の遅れ、被災した島内の道路事情の悪化、配給ポイントに行くまでの安全確保の課題など、さまざまな事情によって被災地への物資配布が遅れた経験があります。あの苦い教訓を糧に進める今回の早期派遣は、一人でも多くを救うため、また、一刻も早くニーズを把握し、より多くの人に必要な物資を届けられるよう、今からできる最善の方法です。

また、今回派遣する救助犬レスキューチームには、今夏8月の広島のと砂災害支援で活躍したNPO法人ピースウィンズ・ジャパンの災害救助犬「夢之丞（ゆめのすけ）」も含まれています。殺処分直前に同団体に引き取られ、救助犬となるための訓練を重ねてきた夢之丞が、今度はフィリピンの人たちを救うためチームの一員として活動します。

この支援活動を支えていただくための寄付も募っています。

<http://apadm.org/>



↑ 2013年フィリピン台風支援時のテント設置の様子



↑ 2014年8月広島土砂災害時のレスキュー活動の様子

詳細情報は、随時アジアパシフィックアライアンス（A-PAD）及び A-PAD メンバーである Civic Force の HP や facebook、twitter でお知らせいたします。

<http://apadm.org/>

<http://www.civic-force.org/>

<https://www.facebook.com/civicforce>

<https://twitter.com/civicforce>

報道関係者の皆さまには、引き続きフィリピン台風被害の状況と、その支援活動にご注目いただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

#### ◆アジアパシフィック アライアンスについて

アジア太平洋地域で大規模災害が起きたとき、各国・地域の企業、NGO、行政が各組織の壁を越えて連携することで、それぞれが持つ情報、人、資金、モノを各国間で共有・活用し、より迅速で効果的な支援を目指す組織です。2011年3月11日の東日本大震災をきっかけに、翌2012年に緊急支援団体「Civic Force」などのイニシアチブによって設立。現在、日本、インドネシア、韓国、スリランカ、フィリピンの5カ国の企業やNGOなど各国で災害支援の中核として活躍してきたメンバーが集まって実現した。長年、それぞれの緊急災害支援の現場に身を置いてきた経験を共有し、皆、「一人でも多く救う」という共通の強い思いを持っています。

#### ◆報道関係者の皆様からの問い合わせ先：

アジアパシフィック アライアンス 担当：根木

TEL: 03-5213-4930 / 080-6814-7177、Email: [neki@apadm.org](mailto:neki@apadm.org)